



2019年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月6日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
 コード番号 7983 URL http://www.miroku-jp.com/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 (TEL) 088-863-3310
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第3四半期の連結業績(2018年11月1日~2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第3四半期	11,539	14.0	1,082	25.1	1,183	17.1	779	△0.8
2018年10月期第3四半期	10,126	4.7	865	△15.1	1,010	△10.8	785	△10.3

(注) 包括利益 2019年10月期第3四半期 863百万円(14.5%) 2018年10月期第3四半期 754百万円(△14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第3四半期	268.16	—
2018年10月期第3四半期	270.39	—

※当社は、2018年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第3四半期	16,893	13,318	78.8
2018年10月期	16,534	12,603	76.2

(参考) 自己資本 2019年10月期第3四半期 13,318百万円 2018年10月期 12,603百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	4.00	—	25.00	—
2019年10月期	—	25.00	—	—	—
2019年10月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2018年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年10月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年10月期の1株当たり年間配当金は45円00銭となります。

3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日~2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	11.0	950	△0.5	1,080	△1.6	800	△2.1	275.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年10月期3Q	3,005,441株	2018年10月期	3,005,441株
2019年10月期3Q	100,511株	2018年10月期	100,317株
2019年10月期3Q	2,905,027株	2018年10月期3Q	2,905,369株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※当社は、2018年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※2019年10月期第1四半期より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調が続きました。一方海外情勢においては、景気は全体として緩やかに回復しているものの、米中間の通商問題や英国のEU離脱問題など世界経済に与える影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,539百万円(前年同期比14.0%増)、経常利益は1,183百万円(前年同期比17.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は779百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 猟銃事業

高付加価値製品である上下二連銃及びボルトアクションライフルの販売数が、前年同期を大きく上回り、また生産効率改善により、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。その結果、売上高は6,051百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益(営業利益)は668百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

② 工作機械事業

加工部門につきましては、売上高は前年同期比減となりましたが、主力の機械部門は引き続き好調な受注により販売台数が増加し、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。その結果、売上高は2,318百万円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益(営業利益)は608百万円(前年同期比23.7%増)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高9百万円を含んでおります。

③ 自動車関連事業

付加価値の高い純木製ステアリングハンドルの販売は前年同期比で半減したものの、3Dドライ転写や部分ウッド、全周革等のステアリングハンドルの販売は好調に推移しました。しかしながら、利益面につきましては、純木製ステアリングハンドルの販売減が大きく影響しました。その結果、売上高は3,173百万円(前年同期比38.4%増)、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比42.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて358百万円増加し、16,893百万円となりました。

これは、主に現金及び預金の減少139百万円、受取手形及び売掛金の増加177百万円、たな卸資産の増加227百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて356百万円減少し、3,575百万円となりました。

これは、主に短期借入金の減少100百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少700百万円、長期借入金の増加400百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて715百万円増加し、13,318百万円となりました。

これは、主に利益剰余金の増加631百万円等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,256,943	2,117,733
受取手形及び売掛金	1,982,099	2,159,278
たな卸資産	3,876,396	4,104,298
その他	298,776	342,003
貸倒引当金	△492	△175
流動資産合計	8,413,723	8,723,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,457,831	1,429,340
機械装置及び運搬具(純額)	1,411,771	1,423,721
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	152,126	194,709
有形固定資産合計	4,709,725	4,735,767
無形固定資産		
	51,219	50,939
投資その他の資産		
投資有価証券	2,689,372	2,749,876
その他	683,675	646,611
貸倒引当金	△12,980	△12,980
投資その他の資産合計	3,360,067	3,383,508
固定資産合計	8,121,012	8,170,214
資産合計	16,534,735	16,893,353

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,020,274	1,091,109
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	700,000	—
未払法人税等	270,046	189,711
賞与引当金	150,599	218,742
役員賞与引当金	31,812	26,845
その他	667,362	569,357
流動負債合計	2,940,096	2,095,765
固定負債		
長期借入金	—	400,000
役員退職慰労引当金	151,782	160,607
退職給付に係る負債	607,786	641,515
その他	232,056	277,271
固定負債合計	991,624	1,479,394
負債合計	3,931,720	3,575,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	519,703	519,703
利益剰余金	10,826,279	11,457,475
自己株式	△79,622	△79,972
株主資本合計	12,129,486	12,760,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	437,639	528,757
為替換算調整勘定	35,889	29,102
その他の包括利益累計額合計	473,528	557,860
純資産合計	12,603,015	13,318,193
負債純資産合計	16,534,735	16,893,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)
売上高	10,126,378	11,539,373
売上原価	8,356,269	9,562,004
売上総利益	1,770,108	1,977,369
販売費及び一般管理費	904,403	894,661
営業利益	865,705	1,082,707
営業外収益		
受取配当金	25,082	30,391
持分法による投資利益	57,465	25,272
助成金収入	22,534	1,292
その他	43,324	46,920
営業外収益合計	148,406	103,877
営業外費用		
支払利息	1,985	2,268
その他	1,500	1,182
営業外費用合計	3,486	3,450
経常利益	1,010,625	1,183,134
特別利益		
受取保険金	63,934	97,269
補助金収入	81,900	2,664
特別利益合計	145,834	99,934
特別損失		
固定資産除却損	2,632	2,588
減損損失	2,760	—
投資有価証券評価損	—	81,336
特別損失合計	5,393	83,924
税金等調整前四半期純利益	1,151,066	1,199,144
法人税等	365,495	420,124
四半期純利益	785,571	779,019
親会社株主に帰属する四半期純利益	785,571	779,019

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	785,571	779,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,842	107,871
為替換算調整勘定	△1,751	△3,790
持分法適用会社に対する持分相当額	1,036	△19,748
その他の包括利益合計	△31,557	84,332
四半期包括利益	754,014	863,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754,014	863,351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,743,279	2,086,801	2,293,016	10,123,097	3,281	10,126,378	—	10,126,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,455	—	13,455	—	13,455	△13,455	—
計	5,743,279	2,100,257	2,293,016	10,136,553	3,281	10,139,834	△13,455	10,126,378
セグメント利益	552,882	492,080	6,645	1,051,609	930	1,052,539	△186,833	865,705

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△186,833千円には、セグメント間取引消去1,850千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△188,683千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,051,407	2,308,780	3,173,723	11,533,911	5,461	11,539,373	—	11,539,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,847	—	9,847	—	9,847	△9,847	—
計	6,051,407	2,318,628	3,173,723	11,543,759	5,461	11,549,220	△9,847	11,539,373
セグメント利益 又は損失(△)	668,192	608,843	3,819	1,280,855	△4,457	1,276,398	△193,691	1,082,707

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△193,691千円には、セグメント間取引消去3,448千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△197,139千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。